

放課後等デイサービス自己評価表 事業所職員向け		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	○		・1日当たり10名定員での受け入れを行っています。指導訓練室の中で年齢や人数に応じて、運動ができるよう十分な広さを確保しています。園庭もあり屋外活動も提供しています。	
	2	○		・配置基準を十分に満たしています。専門職も配置し、適時療育についての助言を得て日々の支援の参考にしています。	
	3	○		・車いすでどこでも入ることができるようにスロープを設置し、床もクッションフロアを採用し、安全面に配慮しています。また、玄関の広さの確保やバリアフリーのトイレも設置しています。	
業務改善	4	○		・定期的に職員会議を行い、業務改善検討を行っています。	
	5	○		・定期的に保護者との個別面談を行い、具体的な相談等にも事業所全体で対応しています。	・アンケートの内容を取りまとめ、職員間で共有し、業務改善につなげています。
	6	○		・事業所ホームページにて公開しています。	
	7		○	・現在は外部評価を受けておりません。	・今後受けることを検討していきます。
適切な支援の提供	8	○		・毎月職員研修を行っています。 ・虐待、人権擁護、感染対策、接遇、個人情報取り扱い、発達評価等について研修を行い、共通認識を得られるような機会を設けています。	・支援ないようについて、職員のスキルアップを図るための研修を継続していきます。
	9	○		・アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	・コロナ禍の状況で、電話での面談を実施しているため、感染対策を実施した上で、対面で面談できる機会を増やしていきたいと考えます。
	10	○		・子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	・関係機関との連携を図り、必要な情報収集を行っています。
	11	○		・活動プログラムの立案をチームで行っているか	・グループのリーダー、サブリーダーで日々の活動計画のねらい、課題、支援の配慮等について検討、作成しています。
	12	○		・活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	・1つの支援にならないように子どもの姿をみながら工夫した支援を提供しています。
	13	○		・平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	・平常日、祝日など療育提供時間に合わせて、時間配分しながら、課題を設定しています。長期休暇には、公園や図書館など公共の場に出向き社会性の向上に努めています。
	14	○		・子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	・発達段階や状態、学年に応じて、内容を検討し、個別で取り組む課題設定のほかに、集団で参加できる遊び等も取り入れています。
	15	○		・支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	・毎朝全グループの活動について打ち合わせを行い、活動のねらい、活動の流れや課題、支援の中での配慮事項の確認など情報を共有しています。
	16	○		・支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	・担当職員全員で振り返り反省を行っています。
	17	○		・日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	・療育実施後、全児童についての着替え、排泄などの生活面や遊びの中でのやり取りなど、それぞれの課題について、個別の経過記録を残しています。グループの活動計画についても実施後反省等を記載しています。
関係機関や保護者との連携	18	○		・定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	・半年に1回以上定期的に、個別のモニタリングを行い、支援の継続、見直しの必要性について検討しています。見直しが必要な場合は、アセスメントも行き、計画を立て直すことで、適切な計画を維持できるよう努めています。
	19	○		・ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	・自立支援や創作活動、地域の社会資源などを活用したプログラムを立案し、支援を行っています。
	20	○		・障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	・児童発達支援管理責任者、担当職員が参加し、児童の発達段階について共有するとともに、課題等について、情報共有できる場として活用しています。
	21	○		・学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	・毎月、各学校の行事、下校時刻の確認等を行っています。保育所等訪問支援事業を活用し、学校、放課後児童クラブ等との連携会議を行っています。
	22	○		・医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	・対象児がいないため対応していません。
	23	○		・就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	・相談支援事業所を通して、情報共有を図り、随時必要な情報は把握したうえで受け入れられるよう環境を整えています。
	24	○		・学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	・開設後対象児がいないため、今後必要に応じて対応していきます。
	25	○		・児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	・発達や特性に応じた対応を相談し、専門職からの助言を受けています。
	26	○		・放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	・現時点では実施できていません。
	27	○		・（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	・さつま町自立支援協議会全大会及び分科会である子ども部会に参加し、療育現場からの意見を挙げています。
	28	○		・日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	・連絡帳を活用し、利用時に招待を把握できるような環境をつくっています。また、送迎時に日々の活動の様子を伝えたり、家庭での様子を確認したりしています。
	29	○		・保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	・現時点では実施できていません。
	30	○		・運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	・契約時に運営規定、重要事項について、保護者に個別説明を行っています。また、内容に変更があった際には、その都度保護者への説明を行い、理解を得られるよう努めています。
	31	○		・保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	・相談があった場合には時間をおかず速やかに解決できるよう寄り添っています。
	32	○		・父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	・新型コロナウイルス感染症の影響で対面の保護者会等は開催できていませんが、Zoomによるオンラインでの保護者懇談会を行いました。

保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・現時点では苦情とするものではありませんが、挙がった場合には事業所全体で受け止め、対応を検討していきます。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・月1回、通信を発行しています。活動の様子や次月の活動予定を掲載し、保護者へ情報提供を行っています。 ・安心安全メールを活用し、緊急時や周知が必要な内容について発信しています。	
	35	個人情報に十分注意しているか	○		関係機関との情報交換については、契約時に保護者に説明し、同意を得たうえでを行っています。 また、写真や名前の掲載については、保護者に確認し、同意を得た方のみ使用しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		・子どもの性格や状況に合わせて絵カードや写真などの視覚支援を活用しています。また、手話や指文字を活用しています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		・コロナ感染に努めた上で、地域の方を招いて、制作活動など交流の場を設けました。	・コロナの状況に応じて、事業所の周知理解を図るためにも、必要事項と考えています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		・マニュアル策定し、職員は周知しています。 ・保護者へは、契約時に、重要事項説明書の中で内容を説明し、周知しています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・定期的にご利用し、職員が参加する避難訓練等を実施し、消防署からの指導助言を頂いています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・虐待防止に関する研修を毎年行っています。また、虐待につながらないように職員間の連携や心のケアに努めています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		・身体拘束については、契約時に重要事項説明書の中で説明し、了解を得ています。 対応する場合があります時には、保護者の方へ報告をして了解を得ることとしていますが、現時点では身体拘束を行った例はありません。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・利用前にアレルギーの診断を受けたことのある児童については、医師の診断書の提出を依頼し、内容確認後対応しています。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・ヒヤリハット事例が発生した際には、速やかに原因の把握、防止策を検討し、報告書を作成しています。報告書は全職員が閲覧し、再発防止に努めています。		